

# 健康と光線

〒153 発行所  
東京都目黒区目黒  
4-6-18

(株)  
東京光線療法研究所内  
サナモア光線協会  
電話 東京(03)  
793-5281  
712-5322

新装なった東京光  
線療法研究所正面  
玄関

## 「健康と光線」再刊に際して

サナモア光線協会理事長 宇都宮 光明  
医 学 博 士

日光浴を本格的医療に応用したギリシャの医聖ヒポクラテスは、医学の祖と仰がれております。

彼は紀元前四六〇年頃、コス島に生まれ、父ヘラクリデスから医学を学び、後に医聖と崇められる程まで大成いたしました。

ヒポクラテスが医学の祖と言われる由縁は、医学を宗教から分離し病氣は自然な原因によってのみ起り、その治療には自然治癒力(自然良能)が大きな役割を果していることを喝破したからに他ありません。病氣の本態を言い当ててあまりあり、まことに宜なるかなの感を抱かせます。

ヒポクラテスが日光浴(光線療法)に深い理解を示し、その治病効果を認めていた事実は、光線が自然良能を高め、健康保持に有用な手段であることを教えており、私たちに多大な示唆を与えてくれております。

顧りみて現状の医療は、力づくで病氣を振じふせようとして敗退を繰り返し、病院から見放された人々は加持祈禱の類に走り、あまつさえ病める人に天罰だの祟りだのと、病人に鞭打つような放言をする人が居ることは、残念至極なことです。

「人生は短し、芸術は長し」は彼の残した格言として知られていますが、光線療法の偉効も長く伝えたいものと念じております。



「病は天が治し、御礼は医者が貰う」之は、今から二千三百年前、ギリシャの大医聖、ヒポクラテスが言った言葉であります。

我々の体には生れ乍らにして万病を治す偉大な力がチャンと備はって居り現代の科学で此の力を自然治癒能力と申します。

世の中に不治の病の多いのは余りに医薬を信じ過ぎて医薬方能病と云う余病を併発したためであります。今日では何よりも先ず此の余病を治す必要が生じたのであります。

だから、大家は却って薬物を余り信用しませぬ。慶応医学部教授平井博士曰

く「病気になっても薬なんか飲まぬ、之が変らぬ私の持論―僕の持論として病気にかかったからといって、薬を飲んだってはいまらないと信じているのである。

なるほど風邪の時にアスピリンを飲んだり、胃腸をこわした時に胃腸薬を飲んでうまく適応することもあるが、内科的疾患で薬を飲んで必ず治るというの、あまりないことは学理と実を思わせませう。

太陽光線によって、宇宙の大自然と同化し、生体は微妙に順応して、自然治癒力を活発ならしめ、以って無病強健を計る事は、最も合理的で且つ効果的と申さねばなりません。

太陽光線のエネルギーの内、地上に達するものは、二十三億分の一と言われて居りますが、人間の多い都会地では塵埃や煤煙の為に太陽から来る治療光的に之を製造するより外に其の恩恵に浴する方法はありません。

従来使用されつつある太陽燈や、水銀石英燈等の光線治療器の効力が、極めて薄弱なるは其のスペクトルを見ても明らかな如く縞状の化学線の断続的な光が僅かな部分に現われるに過ぎぬから人体への透徹力も軽微なわけでありませう。

当研究所のサナモアは、太陽スペクトルに最も近似した連続波長を有している為、理想的なものとして容認されています。

(昭和九年一月十五日発行)  
「光線」第一号より引用

## 何が病を治すか

医者か？ 薬か？

宇都宮 義真

## サナモア光線協会の復活を喜ぶ

サナモア光線協会理事  
兵庫県療術師協合理事

上野貞子

東京光線療法研究所が創立48周年を迎えられましたことを、心から御祝い申し上げます。また此度「サナモア光線協会」を復活し、「健康と光線」を再び発行される事になり、大変喜ばしい事です。

私がサナモア光線療法の御世話になりましたのは、昭和17年の時でした。当時14才の次男が慢性の腎臓病で困っておりまして、毎日一回の治療を致しました所、半年で全快し、サナモアの治療効果(エネルギーの作用)に深く感動致しました。それ以来、宇都宮先生の御指導を元にして、色々勉強させて頂きました。神戸市に治療所を開設して三十年になりますが、この間治療を続けてこられましたのも、サナモアの力によるものと感じ致して居ります。沢山の難病の患者を治して、各方面より此偉大なるサナモア光線の効

果は、創案者、宇都宮義真先生の多年に亘る御研究と御努力の結果と存じ上げます。

サナモア光線協会の復活は、各会員の皆様にとって勉強の手引きとなると共に、亡き宇都宮義真先生の残されたお仕事を、益々発展させるための礎となることでしょう。

## 誤診は日常茶飯事

天気予報が当たらないと言う。私もそう思う。特に長期予報など、明日の天気も当たらないのに無理なことまでやっている。氣象衛星の飛びかう時代になっても、なお天気は経験と勘に頼る部分が多いためだろう。私の私見では、台風予報が当たるだけでも氣象庁の存在価値はあると思うが。

実は病気の診断も、天気予報と五十歩百歩だ。重病の場合は台風みたいなもので、まだ当る確率も高いが、熱がでた、風邪でしよう、治りました、当たったというのは、実は大嘘かも知れないのである。天気予報と違って、この嘘を正当化しているものの正体は、自然治癒力である。

(宇都宮)





本社代表取締役、宇都宮義真は昭和52年10月26日午前9時10分、脳幹部血栓症のため逝去いたしました。享年78才。

「追って通夜、告別式は、東京高輪の泉岳寺にて、厳粛なうちに、しめやかに執り行なわれました。ここに故人を偲んで寄せられた弔辞ならびに追悼記を掲載し、御冥福をお祈り申し上げます。

## 宇都宮 義真 逝去

### 弔辞

葬儀委員長  
参議院議員

### 阿具根 登

故宇都宮先生 阿具根登でございます。

この十月は何んと私達にとつて悲しい月でありましょう。今日思いもよらず、宇都宮先生の葬儀委員長を務めなければならぬ事に相成り、極めて痛恨に堪えません。

先生は人間の健康を懸念し、その一生を療術に挺身され、そして又後継者や若い世代のために術技を伝えんとして、永らくその先頭に立って斗われました。特に唯一の言論の場であつ

た審議会においては、先生がただ一人の代表で、残りは全部反対派と云う中であつて、あくまでも療術を守り続けた先生の勇姿を忘れる事ができません。

その先生の長い苦しい闘いが多くの人々に認められ、いままさに実らんとする今日、突然として去られた先生の無念を思うとき、一日も早く法制化を勝ちとり、御霊前に報告できる日を念じて止みません。

先生の長い間の御苦労は多くの後輩に勇氣と自信をつけてくれました。必ずや先生の志を継いで強く生きぬいて行く事と思います。

今はただ安らかな昇天を祈りつつお別れ致します。

さようなら在天の霊よ

安らかにおねむり下さい。

昭和五十二年十月二十八日。

### 弔辞

衆議院議員

### 受田 新吉

謹んで敬愛すること久しい宇都宮義真先生の御霊前に追悼の言葉をお送りいたします。

先生は昭和十年より日本治療師会理事、昭和二十二年より全療協理事、昭和二十八年より五十年まで全療協理事長として、全国療術師協同組織の最高責任者として業界の発展に全力を尽して来られました。

願みて療術を業とせられる全

国幾万の同志が、昭和二十二年占領政策の犠牲となつて期限付業務禁止の運命にあるとき、敢然と立って療術師法制定の大運動の先頭に立たれ、そのすぐれた頭脳とアイデアの持主としての本領を発揮して、昭和三十九年、遂に療術業者をしてその一生を営業出来る立法措置の成功を招かれたのであります。そして引続き同三十九年設置せられました厚生省の「あんま、はりきゅう柔道整復等中央審議会」の委員に、衆望を背負うて就任せられ、療術業界ただ一人の代表者として、医師会、あんま団体の代表者等々を向うにまわして、理路整然たる縦横の活躍をせられ、審議会の結論を有利に展開するために全力をつくされその功績は長く歴史に不滅の光を投げかけて下さいました。

今や先生多年の御苦労報いられ、公正な世論の支持と療術の治療実績の全国的浸透が実を結んで宿願の立法措置が待望出来る状態にたち到りました。まさに栄光の日を前にして偉大なる功績を築かれた宇都宮先生の御急逝は痛恨の至りであります。

私は昭和二十二年はじめて国会に席をおく身となり先生と相

知るに至つて以来満三十年、運命共同体の深い御縁をいただきました。温厚篤実知徳兼備、核心にふれた洞察力と人を動かす人間性の豊かさに、常に無条件の敬愛を捧げて参りました。理事長御退任を思いとどまっていたべく、幾回か先生のお宅をお訪ねしたときの肝胆を吐露した先生との会談の思い出は生涯忘れ得ぬものであります。宇都宮先生、巨星墜つ、業界の灯台消ゆる悲しみで一ぱいです。

今は亡き先生の温顔の前に先生を慕い、先生の冥福を祈る心で一ぱいです。

積善の家に余慶あり。多くの人々の生命を救い、あたたかい心を育てて下さった宇都宮先生の御後は、内助の功をつまえた奥様、慈恵医大出身の光明様たちお子様がお揃いで、今後の御発展を期しておられるのであります。先生の残された療術の世界は必らずや日本の、否世界の無数の人々の生命を守り、限りなく発展することでありましょう。私も先生の御意見を継承して、その日のためにすべてをつくします。宇都宮先生安らかに眠り下さい。

昭和五十二年十月二十八日



## 弔辞

## 全国療術師協合理事長

松本 茂

業界並びに友人を代表し、謹んで御霊前に弔辞を捧げます。

全国療術師協会顧問、東京光線療法研究所長、宇都宮義真先生の突然の訃報を耳にして、驚きと悲しさと落胆と万感胸に迫るものがあります。

先生は昭和七年東京光線療法研究所を設立され、病に泣く人不健康を嘆く人々に活力と光明を与えられ、この道一途に四十年を過ごいたしました。

先生は又逆境の療術界を安泰ならしめ、発展向上させるために、昭和二十二年全国療術師協合理事長として、昭和二十八年からは理事長として、加えて昭和三十九年からは、厚生省あんま等中央審議会委員として卒先して法制化運動に尽瘁、国会活動に挺身された姿は、今なお新たに眼前に迫り来るものがあり、全国業者が敬愛して止まない所以でもあります。

光線療法には情熱を燃やし、多くの難病苦病に取り組んで、

その存在は世人の注目する処でもありました。

近時、療術は物理療法の一環として社会の脚光を浴び、社会的需要に支えられて、更に発展の段階にあるとき、忽然として幽明境いを異にしたことは、惜しみてもあまりある痛恨事であります。然し生あるものは何時か滅びねばなりません。然しな



## 光線療法との

## 出会い

サナモア光線協合理事長  
福岡県療術師協合理事

前田ミサ子

昭和二十六年三月二十一日、春分の日、私は突如背筋に氷水を浴びせられたような悪寒を感じた。その後数日間は微熱が続いた。ところが何時とはなしに、左半身の

がら、先生の業界に尽された功績は不滅であり、永く業界史に刻まれることでありましょう。

我々は今後とも、先生の遺志を体し、療術を通じて、国民の健康福祉のために、更に邁進することをここに誓うものであります。

何卒安らかに眠り下さい。

昭和五十二年十月二十八日



東京高輪・泉岳寺での告別式

手足の関節が皆腫れ、強直を伴い、握力も無くなっていった。五日、七日、十日と経つ内に、次第に歩行は困難になり、左手は全く使えないものにならなくなった。

丁度その頃長崎医大にいた主人の教え子の医師に無理に頼んで友人と一緒にお願いした。あれこれ十数日間治療を施して貰ったが目にみえるような効果は現われなかった。

どうしたら治るのだろうか。日増しに心配が募り食欲はなくなり不眠症が続く見る影もない姿になってしまった。色々と人から奨められることは、素人療法の果まで耳にする度にやってみた。苦しい時の神だのみで毎晩神仏に祈らずにはいられなかった。悶々のうちに何日かが過ぎた。

或日、近所のおばさんがひよっこりやって来た。病状を話すと「まあ、ほんとにそら大事じやなかですか。私の知ってる先生で、近所の人が治療してもらったら、おかげで良くなりましたと喜んでましたけん、その先生に頼みに行ってみましょ」と家族のことのように親切に言って下さった。溺れるものは藁をも掴むで、私は無条件でこの話にとびついた。

これが私と光線療法の出合のきっかけである。翌朝九時頃先生はおいでになり早速説明を聞き指示通り光線療法を受けた。その時の気持ちのよかったことは今でも身にしみて忘れられない。気のせいか治療が終ってから全身が楽になった。おぼさ

んの話を信じて本当によかった。心の中は感謝の念で一杯だった。「先生、こんな気持のいい治療で治るのですしたら極楽ですね」と申し上げたら「貴女もそう思いますか。殆んどの人が同じことをいいますよ」と如何にも満足そうに笑われた。七日間の治療で、あれほど苦しんだ左半身の症状は、殆んどなくなっていた。それから数日後、私の元気な姿をみながら

「これから光線で病気を治す啓蒙運動に力を入れたい。貴女は教員をしていた方だし、適任者だと思いが、光線療法を研究する気はありますか」と突然、思いがけない申し出を受けた。

私は光線治療の効果の偉大さに感動していた時だったので、最後までやり通せるだろうかという危惧の念もあったが、反面、新しい人生が大手に括けて待っているという期待もあり「よし、とにかくやってみよう」と強く心に誓った。病気が私の後半生に一大変化をもたらした。この様にして光線療法の道に入り、宇都宮義真先生と知り合い、その後、長年にわたる一方ならぬ御指導御厚誼をうけることになるのである。

療術師は、常に最善をつくし、様々な体験を経てこそ、人々から信じて貰えるのだということ、そして常に反省し努力することが大切だということ、光線治療には無限の可能性があること等々も分るようになった。この間二十数年間が過ぎた。

宇都宮義真先生、初盆には御家族の皆様がお待ちになる家にお帰りになり、さぞ御安心なさいましたことでしょう。それは光明先生が亡きお父様の後を御立派に御継承なさいます、益々御発展の途上にあるからです。私も命ある限り、先生の志を継いで、光明先生ともども光線療法の普及発展に尽す所存です。何卒御安心下さり、霊界より御守り下さいませ。来年の盂蘭盆までさようなら。御冥福を心からお祈り申し上げます。 合掌





## 揖斐川電気工業・青柳工場

# 厳しい品質管理

## 昭和13年、研究開発に成功

### 一 歴史

揖斐川電気工業 K K は、揖斐川水系の水利用による電気供給事業を目的として、明治39年に設立された揖斐川電力 K K に端を発しますが、現在には総合化学会社として発展しています。当社のカーボン部門は、明治34年設立の東京カーボンを継承したものであります。以来常に業界をリードしておりアーク灯用のカーボンを最初に製造したのも我が社であります。この技術は、その後探照灯用カーボン、映画用カーボン、ガウジングカーボン、特殊炭素製品と引き継がれて現在に至っております。この間にあって、医療用カーボンは一八九三年デンマークのニールス・フィンゼンによって実用化され、その効果は広く認められておりました。当社では、東京光線療法研究所の依頼に応じ、その全面的協力の基に研究開発に取り組み、昭和13年に製

波長	周波数	呼称	用途例
10	30	長波	工業加熱
1	300		調理器
(KM)	3000		ラジオ
100	(KHz)	中短波	電気メス
10	30	短波	樹脂加熱
1	300	超短波	テレビ
(M)	3000	極超短波	電子レンジ
10	(MHz)		
1	30		
(cm)	300	ミリ波	工業加熱
1	3000	サブミリ波	
(mm)	(GHz)		
10		赤外線	光線療法
1		可視光線	写真工業
(μM)		紫外線	食品殺菌
10			
1		X線	X線
(NM)		ガンマ線	放射線
1			
0.1			
0.01		宇宙線	

図1 電磁波の波長(周波数)と用途

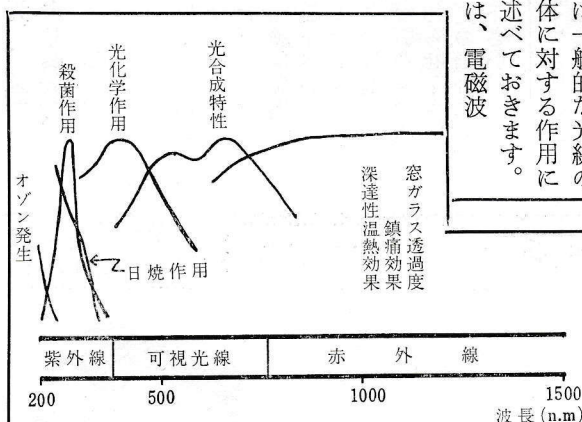


図2 サナモア光線域に於ける光の各作用

品化に成功、その後も研究、改良を加えて、現在ではA、B、C、D四種類のカーボンを準備いたしております。因に当社の炭素棒工場は、生産量において世界一を誇り、厳しい品質管理のもとに欧米をはじめ世界各国に輸出して、その品質の優秀性は、他の追随を許さぬものであります。そして、昭和33年わが国業界の榮譽とする大河内記念賞を受賞しました。

### 二 光の生体に対する作用

光の専門的な医療効果は別に本紙でも論じられると思いますので、ここでは一般的な光線の性状および生体に対する作用について簡単に述べておきます。光そのものは、電磁波の一種であり、その周波数(波長)によって各種の働きをします。図1に周波数(波長)による働きと、その利用例を示します。この中で、三八〇〜七六〇ミリのミクロンの範囲が可視光線で見える光線となり、周波数が小さい程赤く、大きくなるに従って緑、紫へと変わって行きます。この可視部を越えた赤側が赤外線、紫側が紫外線と呼ばれており、夫々の周波数帯(波長帯)によって、可視性、温熱作用、光合成作用、光化学作用、殺菌作用、鎮痛効果、日焼けなどの効果を有します。この概略

を図2に示します。

この内で医療用として手軽に家庭で用いる事が認可されているのは、可視部と近赤外、近紫外の領域です。

光線の効果の一部を記しますと

(1) 四六〇ミリミクロン附近の青色光照射による新生児黄疸療法

(2) 二八〇〜三一〇ミリミクロンのくる病予防

(3) 三六〇ミリミクロン附近の皮膚疾患療法

(4) 七〇〇〜一五〇〇ミリミクロンの深達性の温熱効果を利用する血行障害療法、鎮痛効果などがあります。

勿論、サナモア・カーボンは、この全領域にわたる周波数を、連続スペクトルとして放出する総合光線を出しますので、いずれに用いても効力が認められるのであります。

(以下次号に続く)

### ■大河内記念賞

大河内記念賞は、理化学研究所の創立者、故大河内正敏博士の功績を記念して、わが国の生産技術の向上発展を期するために設けられたものである。



## 文献拾い読み

近年、尿毒症患者に対する透析療法（人工腎臓など）の進歩は、患者の余命を明らかに延長したが、透析も尿毒症に伴う各種合併症を防ぎきるには至っていない。そのうち尿毒症性皮膚癢痒症は、長期透析患者の85%が罹患する重要な合併症であるが、治療に抵抗性を有し、確実に奏功する治療法は知られていない。一方紫外線(UV)が癢痒性皮膚疾患に対して著効を有することは、長年にわたり明らかにされている。

そこで紫外線照射の尿毒症性癢痒症に対する効果は如何にと検討した論文が、アメリカの医学誌(New Eng. J. Med. 297:136, 1977)に発表されているので紹介する。

ハーバード大学皮膚科の、Dr. B.A. Gilchrist はあらゆる治療に抵抗する重症の癢痒症に悩まされている尿毒症患者18人を無作為に2群に分け日焼を起すスペクトルの紫外線(UVB)照射群10人、波長の長い紫外線(UVA)照射群8人につき、それぞれ効果を検討した結果、UVAでは10人中8人、UVAでは8人中2人に著しい痒みの改善を認めた。この改善は2〜3週で得られ、平均7ヶ月(最長11ヶ月)の追跡期間中再発はなく、軽度の日焼けが唯一の副作用であったと報告している。

## 近況おうかがい

サナモアは、特に何かのお役にたちましたでしょうか。世の中に、健康であることにまさる幸福はありません。サナモアは応用の範囲が非常にひろく、御家庭でお手軽に使用できるので、すから少しでも悪いところがあ

療に抵抗する重症の癢痒症に悩まされている尿毒症患者18人を無作為に2群に分け日焼を起すスペクトルの紫外線(UVB)照射群10人、波長の長い紫外線(UVA)照射群8人につき、それぞれ効果を検討した結果、UVAでは10人中8人、UVAでは8人中2人に著しい痒みの改善を認めた。この改善は2〜3週で得られ、平均7ヶ月(最長11ヶ月)の追跡期間中再発はなく、軽度の日焼けが唯一の副作用であったと報告している。

サナモアは、連続スペクトルをだすため、このいずれの波長もカバーしており、当然有効と考えられる。なお現在、当研究所に3名の透析中の方が光線療法を合併症の予防と健康保持の目的で利用しており、時々来所されるが、経過は順調で癢痒感はない。(M・U生)

つたは是非ご利用して下さい。軽い病気でも油断せず、重い病気でも諦めることなく、毎日の積みかさねが、必ず大きな力になって帰ってきます。常に皆様の御健康を心から祈っていますので、御近況等、お知らせ願います。

## サナモア光線協会

よりお願い

一、会員を募集しておりますが、当方の連絡不行き届きのために未入会の方が大勢居ることを考えられますので、協会のことをお知り合いのサナモア愛用者の方に、お知らせ下さい。

二、次号より治験例を掲載しますので、御投稿下さい。

また質問コーナーも御利用下さい。(匿名でも結構です)

三、御注文等御連絡の折には会員番号をお知らせ下さい。

四、住所変更の場合には、速やかに御一報下さい。

## 目黒通信

▽昭和47年より休刊しておりました「健康と光線」を季刊で発行するに際して、多数の方がサナモア光線協会会員募集に応じ下さいました。有難うございました。

▽顧りみて、東京光線療法研究所の機関紙「光線」第一号は、昭和九年一月に発行されました。

▽その巻頭に、創立者、宇都宮義典が署名入り記事、「何が病気を治すか、医者か、薬か」を書いています。此度本紙上にその全文を再録いたしました。

▽医学の原点を問いかけた内容は、40年以上の年月を経てもそのまま通用します

☆新年の営業開始は一月五日(金)からです。よろしくお願ひ申し上げます。

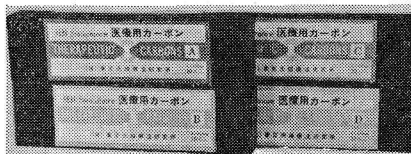
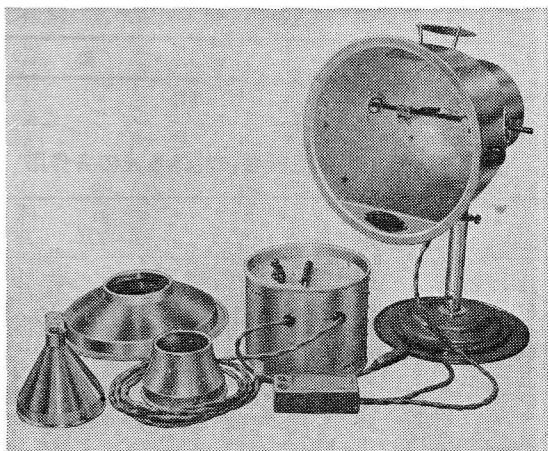
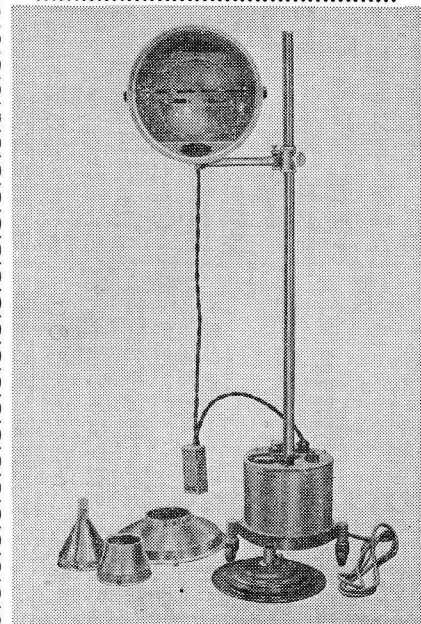
<7号器> 定価 85,000円  
送料 6,000円

サナモア

発売元

〒153 東京都目黒区目黒四一六十八  
(株)東京光線療法研究所  
電話東京(03)七九三二五二八二  
七二二一五三三二

<8号器> 定価 65,000円  
送料 5,000円



## ■医療用カーボン

△ □ ○ ◇

1箱10本入 定価 1,200円

## ■「光線療法学」

1冊 定価 1,000円